

女子向け
イベントサポート
NHK新潟放送局 様



2018年7月15日の夜。新潟市内にあるLIVEハウスで「新潟女子の“ホンネ”に迫る」トークイベントが開催されました。

新潟に住んでいる、または新潟出身の20代・30代の女性に向けたラジオの公開収録イベントで、顔が見えないラジオだからこそできる本音トークで、いまを生きる新潟女子のホンネと魅力に迫りました。

第一印刷所では、d'onnaが新潟女子目線を活かして当イベントの企画やビジュアル制作などをサポートさせていただきました。またイベント企画の際には、d'onnaメンバーへ

アンケートを実施。新潟のイメージや恋愛のこと、仕事のことについて計50問を集計したところ…たくさんの“新潟あるある”やおもしろい統計が得られました。

イベント当日は、d'onnaメンバーでもある月刊にいがた編集長 霜鳥彩さんがゲスト出演。多くの取材経験から新潟をよく知る霜鳥編集長が、新潟女子なら「わかる!」と共感できるエピソードや一方で意外な新潟の姿をイベント参加者と一緒になって語り合いました。

にいがたもよう研究所 2018 playback

d'onnaがプロデュースする、新潟の魅力をもよんで表現するデザインプロジェクト“にいがたもよう研究所”。2018年も、たくさんのもよみやアイテムが誕生しました。



にいがたみなともよう

- モチーフ** 2019年1月1日に迎える開港150周年を記念して、実在する灯台とふねを表現。
- アイテム** みなとまち新潟の魅力を気軽に持ち運んでいたけるように、メモパッドに展開



十日町きものもよう

- モチーフ** 日本屈指のきもの総合産地である十日町のきもの。雪国でもある「十日町」を、雪の結晶に重ねた隠れ文字で表現。
- アイテム** 和の彩りを、和の雑貨で楽しんでいたこうと一筆箋とポチ袋セットに展開



白根大凧もよう

- モチーフ** 新潟市南区の一大イベント白根大凧合戦の、13組の凧デザイン勇壮な白根の大凧をかわいく、そして親しみやすく表現。
- アイテム** 子どもたちや外国人観光客の方にも楽しんでもらえるように、おりがみに展開。白根大凧合戦の説明を英語併記。

にいがたもようは、大手ドリンクメーカーの飲料やお菓子のパッケージ、ノベルティなどのデザインに使用していただくなど、展開が進んでいます。おかげさまで、新潟県異業種交流センター主催 第15回「NIKS地域活性化大賞」で奨励賞をいただきました。これからも、新潟をデザインで鮮やかに照らす活動を進めていきます!

にいがたもよう研究所の情報はこちらをチェック!

女子企画チーム



第一印刷所グループ企業に所属する女性スタッフによるマーケティング集団。印刷物の企画制作はもちろんプロモーション企画・運営、店舗運営、出版・商品開発、メディアコンテンツ企画・制作など様々なプロジェクトに携わる約150名が集結しました。チーム名 d'onna(ドンナ)はイタリア語で「女性」のこと。消費の約8割を動かすのは女性といわれる中、女性の感性と企画力を活かしたサポートを実践しています。

dip 株式会社 第一印刷所 〒950-8724 新潟市中央区和合町2-4-18 <http://www.dip.co.jp>

お電話かメールで **025-283-6222 info@dip.co.jp**

サポート内容 商品企画・販売促進/人材育成サポート/プロモーションなど
●お問い合わせ TEL.025-283-6222 担当/小林

Facebookで情報発信中!

ドンナ プレス
d'onna PRESS



見附市様 × d'onna × FFFFun様
花と緑に囲まれた癒やしのカフェ
メグ カフェ ゴーイチイチ
MEG CAFE 511

2018年4月、見附市にある本格的な英国式庭園「みつけイングリッシュガーデン」の敷地内に、「MEG CAFE 511」がオープンし、連日多くのお客様が賑わっています。このお店は、年間14万人にのぼるガーデン来場者からの「ガーデンでゆっくりお茶やお食事を楽しみたい。ガーデンならではのお土産が欲しい。」とお声を受けてオープンしました。この度、見附市様よりこの新店オープンに関わる総合アドバイザーをd'onnaに、とご依頼をいただき、コンセプトから店舗ネーミング、ロゴデザイン、お土産品開発の商品アドバイス、パッケージデザイン等トータル的にお手伝いをさせていただきました。木造の温かい雰囲気、おしゃれで美味しいメニュー、ここでしか買えないガーデン土産...どこをとっても素敵なカフェ&ストアです。週末にお出かけしてみたいはいかがでしょうか。



みつけイングリッシュガーデン

開園期間:4月~11月(12月~3月までは冬期閉園)
入園料:無料(任意で100円程度の協力金をお願いしています)
お問い合わせ:0258-66-8832

見附市が運営する英国式庭園。ガーデンデザイン監修は日本での英国園芸研究の第一人者であるケイ山田氏。初夏の最盛期(6月~7月)にはバラ・シャクヤク、秋はダリア・バーベナなどが園内を彩ります。



指定管理者:FFFFun株式会社 オーナー
山田雅和さん
三条市下保内「ジャルディーノフェリーチェ」に続き、2店舗目として「MEG CAFE 511」の指定管理者に。燕市で愛された「キッチンバスケット」元シェフの父と、ガーデンコーディネーターの母とともに、2店舗を切り盛りする。

MEG CAFE 511(メグカフェゴーイチイチ)

見附市新幸町5-11 みつけイングリッシュガーデン第一駐車場敷地内
TEL:0258-94-4274 営業時間10:00~21:30
休み:無休(12月~3月は火曜定休) 席数:40席/駐車場40台(共有)



ドンナのお仕事と ウラ話



ネーミング&ロゴデザイン

幅広い世代に親しまれる店名を

Mitsuke English Garden の頭文字から、MEG。511は、所在する番地に由来しています。「メグ」の響きは、女性の名前を連想することから、幅広い世代の方に親しみを持って呼んでいただきたい、という願いが込められています。シンプルで覚えやすく、特徴をあらわした名称ということから、多数の候補よりお選びいただきました。

幅広い世代に受け入れてもらえるよう、シンプルかつイングリッシュガーデンの本格的英国式庭園のイメージを感じさせるデザインに。このロゴデザインの世界観を活かして、各種ツールを展開しています。



ロゴデザインは、d'onnaメンバーが久住見附市長へ直接プレゼンテーションをさせていただきました。数案の候補の中より、感覚的でありながら論理に裏付けされた選定理由に一同納得。大変貴重な機会をいただきました。

商品開発&パッケージ

見附メイドのガーデン限定商品を実現

せっかく見附にいらっしゃった方に、見附の素敵なお土産を提供したい。そんな見附市様のご要望から、市内の参加企業11社とd'onnaと市のご担当者様で打合せを重ねて商品化。

合計11社から出品したい商品を提示していただき、できるだけ既存商品を生かしながらの商品開発のサポートを実施しました。アパレルや食品、インテリア雑貨など、カテゴリも形もバラバラな商品たちを、「みつけみやげ」として仕上げる作業は、楽しくも難しい課題でした。店頭と並ぶ商品たちは、価格や材料など限られた条件の中、できるだけガーデンらしさを追求して出来上がったものです。



参加企業のみなさんは、バイタリティ溢れるアイデアマンばかり！熱量あふれるプレゼンに、d'onnaも市の担当者も打合せの度にぐったり。こちらの要望に対し、フットワーク軽く試作を重ねてくださる姿勢は、大変勉強になりました。見附市を支える企業の力を感じたお仕事でした。

ご担当者様からメッセージ



見附市建設課
矢島誠子さん

見附市では初めての取組となったd'onna総合プロデュースの事業。最初は緊張していた市内企業の皆さんもしだいに打ち解け、「ドンナサン」との新商品開発に熱心に取り組んでいました。自社商品の新たな魅力に気づき、自信もついたので。市だけではここまできめ細やかなプロジェクトは難しかったと思います。本当にありがとうございました。

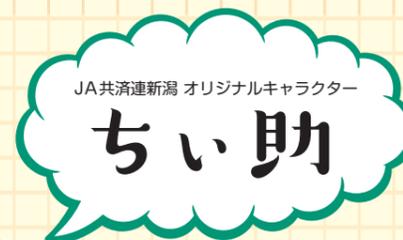


ランチメニュー▲
オープンチャリ▶



オリジナルキャラクター ちい助 制作プロジェクト!

JA共済連新潟様の若手女性職員6人と、d'onnaメンバーでプロジェクトチームを結成しました。



今年1月から新潟市内を走っている「JA共済ポスターコンクール」のラッピングバスにも4匹が登場!

2017年5月、JA共済とJA共済連新潟をもっと身近に感じてほしい...そんな思いから始まったのがオリジナルキャラクター制作プロジェクト。JA共済連新潟様の若手女性職員6人と、d'onnaメンバーでプロジェクトチームを結成し、約半年間打ち合わせを重ねました。メンバーの意見を集約しながら、キャラクターのデザインや性格設定など...。メンバーが「かわいい!」と思えるキャラクターになるまで細部までこだわりました。

そして誕生したのが「ちい助」、「あん・しん・ラテ」! ちい助は、JAマークの形をした耳がチャームポイントの男子。保障を通じて地域の皆さまの暮らしを守り、支え、助けたいという"地域を助ける"思いから生まれました。ちい助の兄弟は、笹団子モチーフの可愛いフォルムをした「あん」「しん」「ラテ」。新潟弁で"安心らて"="安心ですよ"の意味が込められています。

どんなキャラクターが人々に愛されるのか?と、何度もアイデアを出し合って生まれたキャラクター達にはプロジェクトチーム一同、愛着もひとしおです。これからも、ちい助たちがJA共済連新潟様のシンボルとしていつまでも愛される存在になってくれたらと思います!



「カフェ&グリルみのり」にてランチミーティングの様子(2017.6)



ちい助の兄弟「あん」「しん」「ラテ」。手に持っているクローバーは JA共済連新潟様の保障の柱である「ひと」「いえ」「くるま」を表しています。



ちい助グッズ。ポスターやステーションリー、うちわやポロシャツなどもバラエティー豊富。